

ご存知ですか？

番町地区の生活環境が変わろうとしています

番町の町並みを守る会よりお知らせ

番町の町並みを守る会ではこれまで12回の勉強会を重ねてまいりました。今回は下記テーマにて毎月23日を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの現状に鑑み、開催を4月以降に延期することと致します。

日テレ沿道再開発の現状は どうなっているのか？

～徹底検証～

日本テレビ旧本社ビルの解体が進んでいます。しかし、その後の建築計画は未だ発表されていません。現地の「建築計画のお知らせ」をご覧になった方の中には本社跡地の建築計画が60メートル以下で決まったと思われる方もいらっしゃるようですが、この計画はあくまでも既に建築済みの新スタジオ棟に関するものです。

番町のまちづくりの約束事である現在の「地区計画」では、番町地域は60メートルを超える超高層ビルの建築を禁じております。これに対し、日本テレビ並びにその関係者は千代田区役所に対し、この規制の緩和を働きかけています。

一体、どのような方法でこの規制の網を乗り越えるのか？その一つとして想定される「再開発等促進区」について都市計画の専門家をお招きし、お話をお伺いします。

番町の町並みを守る会 は番町地区の住環境並びに文教地区としての価値を守るため、番町住民が立ち上げた団体です。番町は江戸時代は武家地であり、近代では多くの文人が居を構えた地です。創立100年を越す学校が7校もある文教地区でもあります。この良好な環境を守るために、勉強会を通して住民の皆さまと考えたいと思います。詳しくは、「番町の町並みを守る会」ホームページをご覧ください。裏面に先月千代田区長に提出しました要望書の写しを掲載しております。

次回、第13回勉強会の開催については、改めてご案内申し上げます。

主催：番町の町並みを守る会

〒102-0076 東京都千代田区五番町12-6 五番町マンション B1F

<https://www.bancho-machinami.com> お問い合わせは：infobancho@machi-kaeru.com

※お送りいただきましたメールは「番町の町並みを守る会」の活動に関するご連絡以外の目的では使用致しません。



石川雅己 千代田区長への要望書

令和2年2月17日

千代田区長
石川 雅己 殿

番町の町並みを守る会

日本テレビ旧本社の跡地利用について、千代田区では平成30年より協議会を開催し、議論してきましたが、平成31年1月以降協議会が閉ざされたまま開催されていません。日本テレビ旧本社の解体が進み、周辺住民はこの跡地にどのような建物が建築されるのか心配しています。

日本テレビ通り沿道の商業地域は、周辺に学校が多数立地する文教地区でもあり、住居系地域の真ん中に位置することを考慮して、地区計画が制定されているもので、これを遵守することが大原則です。

「番町の町並みを守る会」では、定期的に勉強会を開き、まちづくりについて学ぶとともに、地域住民の意見を収集してまいりました。多くの住民は、現状の環境を維持する事を望んでいます。

現行地区計画以上の高密度再開発を行おうとする場合、近年では都市部でも「再開発等促進区」という制度を適用する場合があります。

しかしこの制度は未利用の工場跡地や、操車場跡地などの活性化を促進するために制定されたものであり、番町のような良好な住居系地域の周辺でこれを適用することは本来の法の趣旨から大きく逸脱するものです。

「再開発等促進区」の適用は、事業者の提案を都市計画審議会、区議会の意見を聞いた上で、行政が決定するものと了解しています。

番町のまちづくりには、現行の地区計画を尊重し、「再開発等促進区」等を適用しないよう強く要望します。

ホームページQRコード

